

令和 8 年 6 月定例会一般質問 要約版

質問者 北原 輝隆 議員

【特定外来種オオキンケイギクの防除対策について】

質問 1

議員：町内での広がり現状について

町長：特定外来生物として生態系被害が懸念される。町として必要な防除措置を講じ、町内各地で多数の発生地点を把握し、種子形成前の早期駆除が重要と考える。

質問 2

議員：管理者と連携した駆除の可能性について

環境課長：管理者が明確なら連携可能。駆除方法の助言やパンフで周知を進める。

質問 3 今後 1 か月の重要対策について

議員：①種子飛散防止対策は

環境課長：開花期の対応が重要。刈取り等を継続するが多年草で根絶は困難と考える。

議員：②今後の町民への周知は

環境課長：開花期の広報が効果的であり、回覧板や HP で特定外来生物として周知する。

議員：③ボランティア活用の予定は

環境課長：現状予定なし。適正手順を指導しつつ、申し出があれば活用を検討する。

質問 4 県・国との連携について

議員：①県との連携について

環境課長：県の施策に準じ、情報収集しながら連携して対策を進める。

議員：②国との連携について

環境課長：環境省の啓発資料を活用。駆除補助の情報収集を行う。

質問 5 長期対応策について

議員：①定期調査の予定は

環境課長：把握地点を継続監視し、繁殖力の強さを踏まえ定期的に確認する。

議員：②季節ごとの対応は？

環境課長：5～7月の開花期に種子形成前の駆除を重点的に呼びかける。

議員：③町民モニタリングの有無は？

環境課長：職員のみで全域把握は困難。町民周知を進め情報提供体制を整える。

質問 6

議員：広域連携（他町村との連携）について

環境課長：県を通じ情報収集し、他町村との連携や有効な対策を模索する。

質問 7 根絶困難時の対応について

議員：①低密度化について

環境課長：多年草で再生力が強く根絶は困難で、継続的な駆除と私有地対策が重要と考える。

議員：②生態系保全について

町長：継続的啓発で町民意識を高め、自然環境を守り次世代へ継承する。